

# 課題別研修

## 「地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼養管理」

対象国：フィジー、リベリア、ミャンマー、パキスタン、  
セネガル

受入人数：6名

受入期間：2018年9月18日～2018年11月8日



多くの開発途上国の農村部において、貴重な収入源の1つである牛は、様々な用途に利用されながらも飼料の供給量や質、不適切な飼養管理、疾病等により、生産される乳肉の量や質は低く留まっています。

本コースは普及指導員や獣医等の、農家への指導的立場にある研修員を対象に、牛の飼養管理の改善を行い、農家の収入向上に貢献することを目的として実施しました。

実習を通して学んだ良質な飼料作りの技術をはじめ、多くの農家視察から得た知見の普及による、持続的かつ効率的な乳肉生産の実現が期待されます。



グループごとにトウモロコシを使用した飼料を作製し、研修の終盤ではその質を評価しました。



雌牛の生殖器を用い、実際の人工授精の手順や専用器具の扱いを1人ずつ確認しました。



様々な形態の牧場を訪れたことで、飼料作りや飼養環境改善のヒントを得ることができました。



本研修で学んだ乳房炎対策の知識を活かし、機械搾乳の実習を行いました。